

| | |
|--------------------|--|
| 氏名 | 金子 幾之輔 |
| よみ | かねこ いくのすけ |
| 英字 | Kaneko,Ikunosuke |
| オフィスアワー | 授業後研究室にて質問などに対応する。 |
| プロフィール | 埼玉県立上尾高等学校卒業、埼玉大学教育学部卒業 東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了、筑波大学大学院教育研究科修士課程修了 |
| 職位 | 現代幼児教育学科 特任教授 |
| 最終学歴 | 筑波大学大学院教育研究科修士課程修了 |
| 学位 | 修士(教育学) |
| 所属学会・役職 | 日本教育心理学会、日本カウンセリング学会、日本認知・行動療法学会、日本発達心理学会 |
| 専門分野 | カウンセリング心理学、学校心理学 |
| 研究テーマ | 人間の心身の問題とその支援、円滑な人間関係の構築・維持に有用な社会的スキル、心身の安定を図るための自己コントロール法 |
| 主な教育・研究及び社会的活動及び業績 | <p>1.主な教育・研究活動 教育分野では、学生に対して『教育相談に有用なカウンセリングの基礎知識と技法』と題し、主に教育相談における「面接法」の実践を行っている。この教育相談の重要な技法である「面接法」指導においては、面接の基本的態度・技術をロールプレイングなどによって体験的に学修させている。また、前任校において、この分野で卒業論文作成指導した学生2名が「優秀論文賞」を受賞している。研究分野では、筑波大学心理学系心理相談室などで子どもの行動問題等の心理・教育相談活動をこれまでに25年程度行っており、その成果が学会誌に掲載されるとともに、平成元年には「日本カウンセリング学会奨励賞」を受賞している。</p> <p>2.主な社会的活動 豊田市・豊明市内の大学および教育委員会等が主催する公開講座などにおいて、社会的スキルやストレスコントロール等の心理・教育相談に関する講義や実践活動を行い、各講座終了後の講座評価アンケート調査で良好な結果を得ている。</p> <p>3.主な研究業績 (1)著書 ・高野清純・新井邦二郎・金子幾之輔ほか 1991『図でよむ心理学 学習』 福村出版 pp.89-98. はじめ10点 (2)学術論文 ・金子幾之輔・小林正幸・笹田俊樹 1989 非主張的な児童に対する社会的技術訓練の適応効果について カウンセリング研究 22,(1・2) pp.19-25. はじめ34点</p> |

(3)学会発表

・金子幾之輔・田口 舞 2018 読書手段への考え方と読書意識・行動との関連性 日本教育心理学会
第60回総会発表論文集

はじめ16点